

<b>チウラム・チオファネートメチル水和剤 ホームイコート</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日本曹達  <b>原体メーカー：</b> 大内新興，日本曹達
<b>成分：</b> チウラム〔有機硫黄 PRTR・1種〕……………10.0% チオファネートメチル〔ベンズイミダゾール系 PRTR・1種〕…10.0%	<b>性状：</b> 類白色水和性粉末45μm以下 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 種子消毒用粉衣剤として使用の場合，粉衣薬量が多く（2～3％）粉衣しやすい製剤である。
- 効果を強力に長続きさせるため，固着性のある製剤である。
- 固着性があり，果樹の休眠期防除に適し，残効性がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 種子粉衣（球根粉衣）は適当な容器の中で本剤が均一に種子（球根）に粉衣するように少量ずつ丁寧にまぶす。
- 花の種子粉衣の場合の使用薬量は種子の形状によって付着量が異なるので，所定薬量の範囲内で加減する。湿粉衣はしない。
- 水稻の種子消毒に使用する場合には次の注意事項を守る。
  - 種子消毒は浸種前に行う。
  - 粉衣処理は付着をよくするため，あらかじめ種子を湿らせ（塩水選，水切り後などが適当）湿粉衣とする。

○粉衣処理をした種子を育苗箱には種する場合は浸種終了後，浸種液中で過度の付着薬剤をゆすぎ落してから種する。

○薬剤処理した種もみは少なくとも数時間は放置して風乾後，水洗せずに浸種する。

○浸種は停滞水中で行う。

○浸種の浴比は1：2とし，水の交換は原則として行わない。但し，液温が高い場合など，酸素不足になるおそれがある時は静かに換水する。

- 消毒後の球根は水洗せず植付けるか，貯蔵する。

### 【安全対策上の注意】……………

- 眼に対して強い刺激性があるので，眼に入らないように注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 皮膚に刺激性があるので，皮ふに付着しないようにする。付着した場合には，直ちに石けんでよく洗い落とす。
- カブレやすい体質の人は，取扱いに十分注意する。
- 魚類に強い影響，甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。



